

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	障害児通所支援事業所　Ｕサポート高松		
○保護者評価実施期間	令和7年　2月　1日　　　　　～　　　　　令和7年　2月　28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数)　18名
○従業者評価実施期間	令和7年　2月　10日　　　　　～　　　　　令和7年　2月　21日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)　10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年　5月　23日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・広いスペースや部屋数を生かし、個別対応や集団遊びなど、ご利用者のニーズに応じた活動が提供できる空間がある。	・エアコンが設置された広い室内空間により、ドッジボールやサッカー、鬼ごっこなどの集団での運動遊びが年中できる。また、静かに過ごしたい時や学習に集中したい時は個別の別室対応を行っている。 ・イベントによって使う部屋を変えることによって特別感を演出できる。 ・活動に応じて職員を配置し保安体制を整えている。	・新しいイベントや行事内容を追加していく。 ・季節に合わせた掲示物の作成 ・見通しが持てるような構造化の実施
2	・子どもたちが安心感を持って利用していただいております、通所を楽しみにしていただいている。(アンケート結果より)	・子どもたちの自己選択、自己決定を重視している。 ・ミーティングにより、利用前後の打ち合わせ、振り返りを毎日行うことで情報共有を密に行い、統一した支援を図っている。 ・スタッフが少人数のため申し送りがしやすく、意見が出しやすい。また、子どもに寄り添った言葉かけを基本的な姿勢として行っている。 ・連絡ノートやご自宅への送迎時やお迎え時を利用して、ご家族にその日のご様子をできる限り分かりやすくお伝えしている。 ・季節に合わせた行事やイベント、外出行事を実施している。 ・異年齢児や他学校の児童との関わりを増やし、コミュニケーション能力の向上に努めている。	・事業所内外の研修への参加、資格の取得を積極的に促進することで、専門性を高める。 ・ミーティングに参加できなかった際の申し送りの徹底
3	・B型・生活介護が同事業所内に設置されているので連携が図りやすい。	・色々な職員やご利用者との交流を図り、相互理解を深める。 ・作業体験を活動として取り入れることで、現場実習や卒業後のイメージに繋げている。(支援学校在籍のご利用者) ・個人情報の取扱いに注意しながら、情報共有を図りスムーズな移行を図っている。	・合同行事を計画、実施する。 ・ボランティアや実習等を積極的に受け入れ様々な「人」との交流を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員配置は基準を満たしているが保安体制に不安を感じる場面があると感じるという意見がある。(自己評価結果より)	・広いスペースや部屋数があるため ・学校へのお迎えの時間帯が重なり、職員がばらけやすくなる ・ご利用者主体の活動を実施しているため	・ご利用者やスタッフの動きなどをタイムリーに情報収集し全体把握を行う。特に学校への送迎の時間帯は事業所に残る職員が手薄になりやすいため、管理者に報告するとともに必要に応じて応援スタッフの依頼を行う。
2	・プログラムが固定化しやすい	・ご利用者の自己選択・自己決定を重視しており、ご利用者主体の活動を実施しているため。 ・障害特性によりルーティン化をした後の展開が不十分 ・放課後という限られた時間であるため	・事業所内外の研修への参加や資格取得を積極的に促進することで、専門性を高める。 ・子どもたちの発達段階に応じた玩具や活動アイテムの購入、新しい遊びの提案を定期的実施する。 ・部屋の特徴を生かした行事を実施する。 ・外出やイベントの充実を図る。
3	・アンケート結果より、「非常時の対応の項目」が『わからない』との回答が多く、マニュアルの浸透が不十分である。	・各マニュアル（事故防止・緊急時対応・防犯・感染症等）作成や発生を想定した訓練、災害発生時の訓練等を実施しているが保護者の周知が十分ではない。	・マニュアルの見直しを適宜行っているため、そのタイミングで再周知や再配付を行う。 ・避難訓練の際は保護者に事前周知や事後報告を行う。また、広報等でお知らせする。 ・掲示の仕方や場所を検討する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 障害児通所支援事業 Uサポート高松

公表日 令和 7年 6月 1日

利用児童数 22名 (令和 7年 2月 1日時点)

回収数 18件

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1		2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16			2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16			2		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18				・こどもことを理解してくれ、その子にあったコミュニケーションのとり方をしてくれる。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16			2		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16			1	・無回答1	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	1		1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	3				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	2	8		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16		1	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1	6	7		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17			1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1	1	1	・無回答1	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16			1	・無回答1	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	2	5	6	・無回答1	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1		3		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	2		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8		1	9		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1	1	10		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1	1	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15		1	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18				・毎週リサポートに行く日は表情が明るく、うれしそうです。学校に行きたくない日もありますが、リサポートがあるからそのために頑張って学校に行くと言っていました。いつもありがとうございます。 ・毎回家楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	18				・満足しています。デイ中での様子も分かりやすく教えてくれ安心してます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		障害児通所支援事業　Uサポート高松					公表日 令和 7年 6月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		・活動の種類によってのスペースがあり、楽しめる空間になっている。 ・子どもたちがのびのびと広く使える空間がある			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8	2	・職員の欠席や急な利用者様の増加があると不安になるが職員間で支え合っている。 ・利用者様が1体1で対応せざるを得ない状態になった際も、臨機応変に対応できている。 ・基準人員を満たしている。	・日によって利用者数が急きょ増減するので、足りない日もある。 ・活動する部屋が3つあり、おやつ部屋が別にありスタッフがばらけると、保安体制に不安を感じる時がある。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2		・建物が元々は一般の会社であったため、バリアフリー化においては、まだまだできていない所があると思われる。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	・毎日の清掃、消毒液等、おもちゃの消毒も含め、清潔を保つようにしている。	・エアコンの設置が必要だと思われる部屋がある。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		・障がいの重さやその時の状態によって個室もあり、活動できている。 ・放課後等デイサービスで使用する部屋数も多く、様々な活動・利用者様のニーズに応えられるようになっている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		・業務が始まる前に可能な限り職員間でミーティングを行っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1		・紙面での伝達はあるが、その後の改善策については曖昧である。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・仕事前にミーティングすることにより、情報交換ができる様になっている。 ・日々の打ち合わせでは職員が意見を出し合って、業務への不満もないよう工夫がされている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	4		・もっと法人内の放課後等デイサービス職員との交流があっても良いかもしれない。 ・具体性の提示が必要と思われる。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10			・研修があることによってレベルアップできる様にしている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10			・共通理解、検討はもっと立場の違う人の意見も必要だと思う。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10			・紙面を見て理解しているが、それに沿った支援かどうかはよく分からない。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	2	・連絡ノートに当日の様子や宿題の完成度等、なるべく詳しく記すようにしている。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	3	・行事やイベントなど年間計画を立てている。	・多少のマンネリが見られる。 ・好きな活動をしているので、固定化になっていると思う。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	・毎日のミーティングで情報共有している。 ・その日だけではなく、前日の振り返り等も行っている。 ・打ち合わせをすることでよく連携がとれている。 ・参加できない人にはもっと違う形で提示が必要だと思う。	・参加できない人にはもっと違う形で提示が必要だと思う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	2	・送迎の関係で各々終了時間が違うので終了後は無理がある。翌日のミーティングで前日の様子を皆で共有できるようにしている。 ・各々、気づいたことの共有ができています。 ・次の日ミーティングで行われている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			・小さなことについてもっと記録をとったらよいと感じる。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・日々の打ち合わせ時にも、利用者様の近況に合わせて、支援方法を変えられるような体制になっている。	・無回答1
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10		・遊び自体も利用者様が互いに話し合った上で何をするか決めてもらい、あくまで職員は補助し、見守るような体制になっている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10			・自分でやりたい事を子どもの意思で決めているので、工夫はない。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			・無回答1
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			・無回答1
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9			・無回答1
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2		・無回答1
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9			・無回答1
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1		・無回答1
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	4		・無回答1 ・これからの課題である
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2		・無回答1
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・お迎えの父兄様にはノートの内容をより詳しくお伝えしている時もある。 ・保護者さんとの連絡は密にとれている。 ・送迎時に利用者様の様子をお伝えし、状況によっては保護者様とも支援の方法等について相談できている。	・無回答1
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2		・無回答1
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			・無回答1
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			・無回答1
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			・無回答1
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			・無回答1

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	5		・無回答1 ・家庭の事情があるため保護者同士の交流は難しそうです。 ・昨年より業務についているため、それ以前に行われている可能性はありますが、私自身は開催を見聞きしていませんでした。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・保護者さんからいただいたご意見にはできる限り早急に対応させていただいている。	・無回答1
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			・無回答1
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			・資料保管については、もっと厳重にした方が良いと思う。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			・無回答1
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5		・無回答1
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		・定期的に対策についての周知を目的とした社内研修や訓練が行われている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		・薬や服薬時間の変更がある際は、迅速に他の職員へ伝達している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			・無回答1
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			・無回答1
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	1	・ヒヤリハットに関しては、安全面でフィードバックしていくのは非常に良いと思う。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		・虐待防止についての社内研修や外部の研修を受講しに行くなど適宜行われている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10		・身体拘束についても社内研修棟で適宜説明や研修が行われている。	